2026 年 10 月
学術委員会

日本環境管理学会大会の開催案内（2026 年度）・第 2 版

(1) 開催日程
日時：2026 年 11 月 24 日（火）の午後
（ビルメンテナンス会館の会議室における対面開催を原則。リモート併用。）
備考：下記の特別講演を 16-17 時で開催するため、研究発表会の開始時刻は、発表件数等により、16 時から遡って決定する。プログラムは 11 月上旬に掲載予定。

(2) 特別講演
講師：梅干野 晃　先生（東京科学大学名誉教授）
題目：都市建築におけるグリーンインフラ、その存在価値に着目！
時間：16-17 時

(3) 研究発表会
①委員会報告（30 分）
②現場の声（発表 10 分＋質疑 5 分）
・清掃品質管理、省エネルギーへの取組等、ビルメンテナンスの現場に関わる技術、成果の報告を募集する。原稿は研究発表と同じ論文形式、またはパワーポイント資料とする。
パワーポイント資料は 24 頁以内のこと。
その他の形式を希望する場合には、学術委員会に相談して下さい。
③研究発表（一般）（発表 10 分＋質疑 5 分）
・都市や建築の環境管理、維持管理、不動産経営、環境管理論等の幅広い研究を募集する。
④研究発表（若手）（発表 10 分＋質疑 5 分）
学部生、大学院生、卒業・終了後数年以内の若手研究者を対象に、「若手優秀プレゼンテーション賞」を設置する。研究内容は③に準ずる。

(4) 若手優秀プレゼンテーション賞の評価方法
①審査項目：梗概のわかりやすさ、発表のわかりやすさと適切性、質疑応答の適切性
②審査員：学術委員会委員

(5) 発表申込（送付先：info@riemam.org）
①発表申込書：10 月 30 日（金）までにメール添付。
②論文：10 月 30 日（金）までにメール添付（遅れる場合には要連絡）。
③応募資格は、原則として本学会会員とするが、会員以外からも受け付ける。
④発表申込書、執筆要領は学会 HP で確認すること。

(6) 懇親会（大会終了後に懇親会を開催）

(7) 参加申込

①参加費

・会員無料、全国ビルメンテナンス協会会員および学生 1000 円/人、非会員 2000 円/人

・発表登録費 1000 円/題

②参加申込（締切：10 月 30 日を原則）

・参加者は事前に登録する。（送付先：info@riemam.org）

・事前登録者には大会専用 ZOOM-URL を配信する。

③振込先

三井住友銀行 三田支店 普通預金　日本環境管理学会

店番号 623 口座番号 6533120

(8) 学生参加者に対する交通費補助

・学生の発表者、発表連名者を対象に、対面参加のための交通費補助を行う。
3000 円/人（上限）を基本とし、遠方の場合には指導教員を通して金額を相談する。
交通費補助の対面参加者には懇親会にも参加してもらう。

・本補助は 2026 年度大会での試行であり、次年度以降は未定である。

2025 年 11 月
学術委員会

日本環境管理学会大会プログラム

日時：2025 年 12 月 5 日（金）午後 13 時開始
（ビルメンテナンス会館を本拠地としたリモート開催）

(1) 開会の辞：三橋会長

(2) 特別講演（13 時 05 分-14 時 05 分）
建築を変える拡張排水システム　坂上恭助（明治大学名誉教授）

(3) 研究発表会（14 時 15 分-17 時 25 分）

①セッション 1（委員会報告、発表 30 分・質疑 5 分）

01　1415　古橋秀夫（建築・設備の不完全性事例研究小委員会）
維持管理を考慮して設計・施工された A ビルの 30 年

②セッション 2（現場の声/一般発表、発表 10-15 分・質疑 5 分）

02　1450　安蘇秀徳（ものつくり大学）
建設技術者に必要な維持管理保全技術手法の基本

03　1510　山崎克洋（ジェイアール西日本ビルト）
JR 西日本グループにおける鉄道建築物の検査の在り方 その 2

04　1530　橋本　治（日本大学理工学研究所）
東京 23 区における一般廃棄物の安全管

③セッション 3（若手発表、発表 10-15 分・質疑 5 分）

05　1600　江原信一（前橋工科大学）
数値シミュレーションによるダンプネスの評点算出と防除策の検討
住宅におけるダンプネスの評価方法に関する研究

06　1620　木村秀斗（前橋工科大学）
群馬県前橋市の公社賃貸住宅を対象とした数値シミュレーションによる性能評価
集合住宅におけるダイナミックインシュレーション窓による断熱改修に関する研究

07　1640　池　開成（東京科学大学）
第 1 報 スマートタウンへの導入に関わる基礎的検討
水素エネルギー利用システムの建築物への導入シミュレーション

08　1700　今井彩恵（東京科学大学）
第 2 報 食品工場を対象とした CO2 削減効果の推定
水素エネルギー利用システムの建築物への導入シミュレーション

(4) 閉会の辞：湯淺学術委員長

2025 年 10 月
学術委員会

日本環境管理学会大会の開催案内（2025 年度）・第 4 版

(1) 開催日程
日時：2025 年 12 月 5 日（金）午後
（ビルメンテナンス会館の会議室を本拠地としたリモート開催）

(2) 特別講演
講師：坂上恭助　氏（明治大学名誉教授）
題目：建築を変える拡張排水システム
従来排水システムではできなかった、無勾配、上位排水、小径、無封水トラップの特徴を解説する。機械排水システム（小型圧送排水、真空排水）、サイホン排水システム（薄いサイホン、雑排水サイホン）、無封水トラップ（自封トラップ）の構成等。

(3) 研究発表会（本拠地でリモート発表することも可能）
①委員会報告（30 分）
②現場の声（発表 10 分＋質疑 5 分）
・清掃品質管理、省エネルギーへの取組等、ビルメンテナンスの現場に関わる技術、成果の報告を募集する。原稿は研究発表と同じ論文形式、またはパワーポイント資料とする。
パワーポイント資料は 24 頁以内のこと。
その他の形式を希望する場合には、学術委員会に相談して下さい。
③研究発表（一般）（発表 10 分＋質疑 5 分）
・都市や建築の環境管理、維持管理、不動産経営、環境管理論等の幅広い研究を募集する。
④研究発表（若手）（発表 10 分＋質疑 5 分）
学部生、大学院生、卒業・終了後数年以内の若手研究者を対象に、「若手優秀プレゼンテーション賞」を設置する。研究内容は③に準ずる。

(4) 若手優秀プレゼンテーション賞の評価方法
①審査項目：梗概のわかりやすさ、発表のわかりやすさと適切性、質疑応答の適切性
②審査員：学術委員会委員

(5) 発表申込（送付先：info@riemam.org）
①発表申込書：9 月 30 日までにメール添付。9/30 以降も募集中。
②論文：10 月 31 日までにメール添付（遅れる場合には要連絡）。
③応募資格は、原則として本学会会員とするが、会員以外からも受け付ける。
④発表申込書、執筆要領は学会 HP で確認すること。

(6) 懇親会（大会終了後に有志で懇親会を開催する予定）
(7) その他

①参加費

・会員無料、全国ビルメンテナンス協会会員および学生 1000 円/人、非会員 2000 円/人

・発表登録費 1000 円/題

②参加申込（締切 11 月中旬を予定）

・参加者は事前に登録する。（送付先：info@riemam.org）

・事前登録者には大会専用 ZOOM-URL を配信する。

③振込先

三井住友銀行 三田支店 普通預金　日本環境管理学会

店番号 623 口座番号 6533120